

# 富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社環境レポート

## FUJITSU I-NETWORK SYSTEMS LIMITED. Environmental Report

# 2010



## 1. ごあいさつ

富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社は、2005年9月、事業体を製造専門とし、富士通グループのネットワークプロダクトの製造拠点として再スタートし現在に至っております。本社工場は南アルプス市に在り、南アルプス、八ヶ岳、富士山を三方に望む自然豊かな中に位置しております。

早くからトヨタ生産方式をベースとした生産革新運動に取り組み、お客様の信頼にお答えすべく、徹底したQCD追及をものづくりの視点とし日々改善に努めております。

進化するITの中でお客様にとってネットワークの重要度はより一層高まっております。これまでの経験を生かし、ものづくりの会社としてお客様のご期待にお応えし自らも付加価値向上の追求を続けるべく一層努力してまいります。



代表取締役社長 秋山 滋

## 2. 会社紹介

名 称 : 富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社

設 立 : 1943年10月18日 [株式会社長谷川電機製作所]

従業員数 : 316名 (2010年3月31日現在)

事業内容 : 電子交換装置の製造、PBXの製造、ネットワーク端末機器の製造、マルチメディア関連機器の製造

### 3. 主な取り扱い製品

#### ■ IPテレフォニー



IP Pathfinder



RM10S



IP Pathfinder S



PSTNゲートウェイ



PHS電話機【E2】



PHS電話機【C4】



i-stationシリーズ



D-station50シリーズ



iss phone20シリーズ

#### ■ ルーター、ユニファイド コミュニケーション、新ノード



IPアクセスルータ  
Si-Rシリーズ



Cisco Systems社製  
CRS-1シリーズ



Cisco Systems社製  
ルータ ASRシリーズ



Cisco Systems社製  
Unified IP Phone



新ノード  
SBMシリーズ

### 4. 環境方針

#### ■ 理念

当社は、環境保全への取り組みが重要な経営課題であると認識し、IT企業としてその持てるテクノロジーと創造力を活かし、社会の持続可能な発展に貢献します。また、事業活動にかかわる環境上の法律や規範を遵守するとともに、人類すべての共通課題である地球環境を保全するため富士通グループの一員としての取組と地域社会の豊かな環境を維持する「山梨県地球温暖化対策」を実践します。さらに、豊かな自然を次の世代に残すことができるよう、すべての組織と一人ひとりの行動により先行した取り組みを継続して追及していきます。

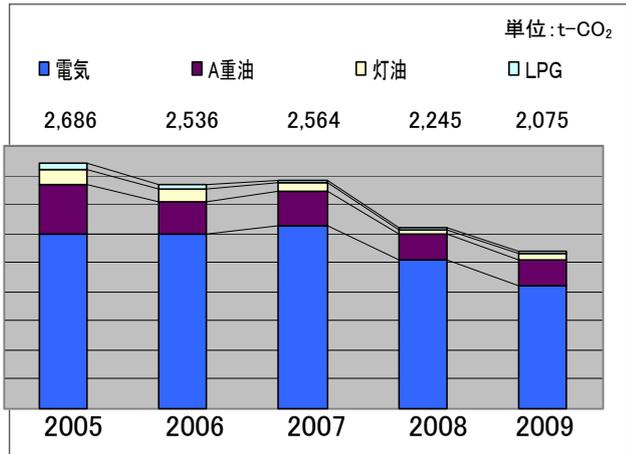
#### ■ 行動指針

- 製品のライフサイクルを通じ、すべての段階において環境負荷を低減する
- 省エネルギー、省資源および3R(リデュース、リユース、リサイクル)を強化したトップランナー製品を創出する
- 有害な化学物質や廃棄物などによる自然環境の汚染と健康被害につながる環境リスクを予防する
- IT製品とソリューションを通じ、お客さまや社会の環境負荷低減と環境効率の向上に貢献する
- 環境に関する事業活動、製品およびサービスについての情報を開示し、それに対するフィードバックにより自らを認識し、これを環境活動の改善に活かす
- 社員一人ひとりは、それぞれの業務と市民としての立場を通じて環境の改善に努める
- 地域社会の豊かな環境を維持する「山梨県地球温暖化対策」を実践する
  - ・自動車の使用に関する対策としてエコドライブの推進に努めます
  - ・森林の保全および整備等に関する対策として構内緑地の整備に努めます

当社は製造專業会社として富士通グループ全体の方向に沿った活動を行う。

## 5. 環境負荷データの経年推移 (主要な取り組み事例)

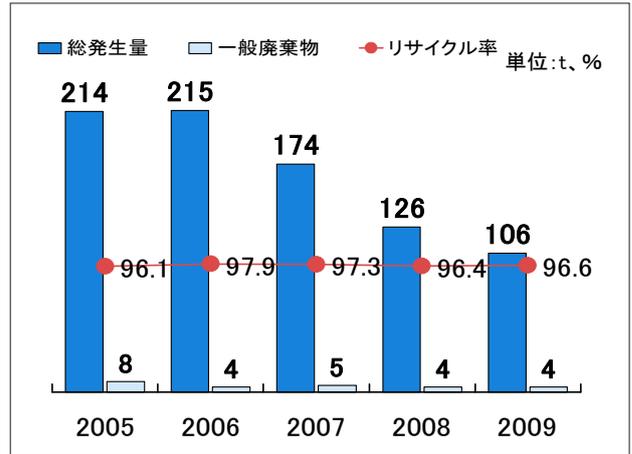
### CO<sub>2</sub>排出量



#### ★ 省エネ機器への更新

- ① 空調のヒートポンプ化
  - ・ 4建屋/2006、3棟/2007、2棟/2008
- ② トップランナー機器への更新
  - ・ 変電所、トランス7台→3台に統合/2009

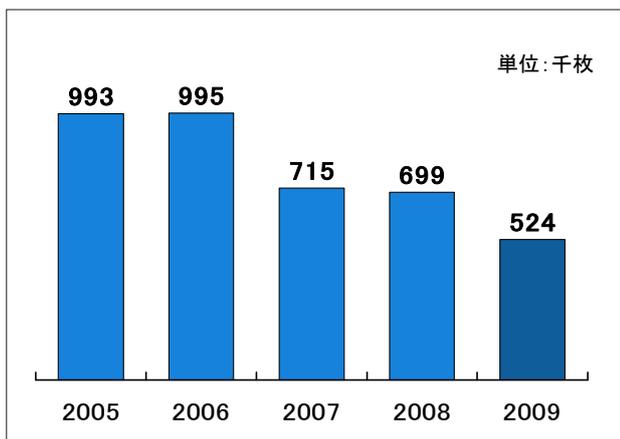
### 廃棄物



#### ★ 資源の再活用

- ① 有価物化の促進(分別の徹底)
- ② 取引先へ通箱拡大/木製パレット再利用の協力要請

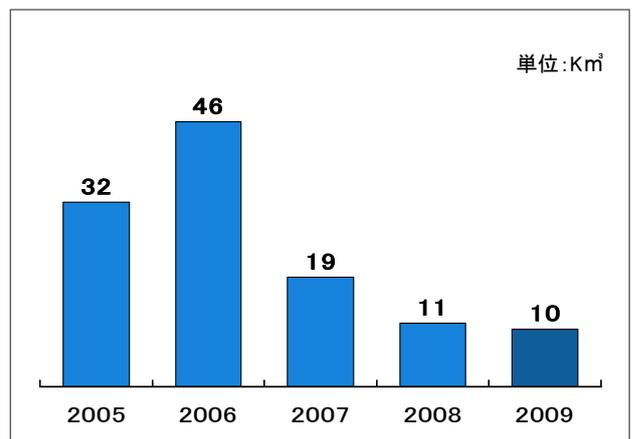
### コピー用紙の使用枚数



#### ★ ペーパーレス化への取り組み

- ① 各種説明会でのプロジェクター活用
- ② 裏紙/縮小コピーによる購入量抑制

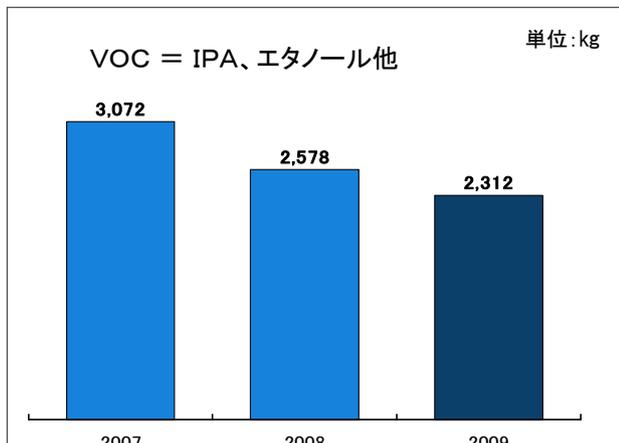
### 水の使用量



#### ★ 上水のムダ排除

- ① 漏水対策工事 (第一期/2007.2、第二期/2007.7)
- ② トイレへ節水簡易装置設置

### 揮発性有機化合物(VOC)の購入量



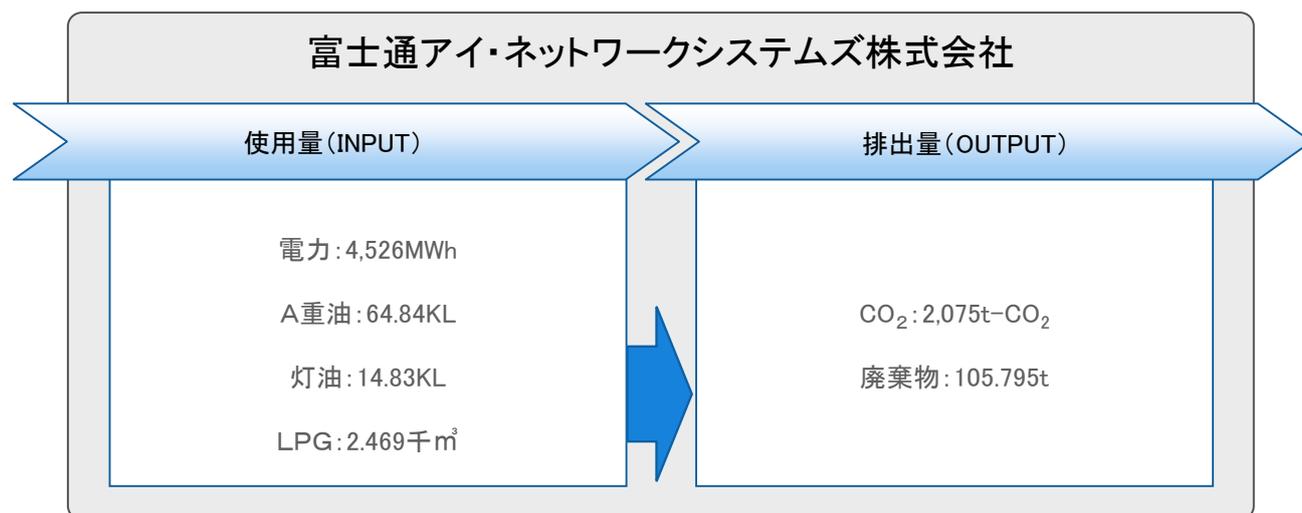
#### ★ TPS手法の活用

- ① 購入かんばんの採用(2008)
- ② メタルマスク洗浄方法の改善(2008)

#### 省エネへの投資事例 トップランナー機器に更新 (変電所)



## 6. マテリアルバランス



## 7. 環境社会貢献活動

当社では工場周辺の清掃活動として「創立記念日」(10月)、「仕事納め」(12月)の機会を活用し2回/年実施しています。2009年度は第四回、第五回目であり、それぞれ参加者数は49名、47名、延べ96名です。



### ★成果

- ① 第四回目・・・約10kg (古タイヤ/古服/ペットボトル他)
- ② 第五回目・・・約 8kg (アルミ缶/ペットボトル/ビン他)

### ■今後の社会貢献活動の展開方針

- ① 清掃活動範囲の拡大
- ② 近隣の森林における間伐活動等への参画

## 8. 環境に関わる法規制の遵守状況

法令遵守の維持管理に向け、法改正への速やかな対応により情報管理の徹底を図っています。また、法規制に基づく所轄官庁への情報提供も定期的を実施しております。

### ■ 地下水/土壌対策

- ・ 地下水: 汚染なし(定期的に地下水モニタリングを実施)
- ・ 土壌: VOC、重金属の汚染を確認、拡散防止対策実施済

### ■ 騒音および振動の測定

当社は騒音及び振動の測定を敷地境界において定期的実施しており、規制基準を遵守していることを確認しています。

## 9. 環境活動の目標と実績

### ■ 2009年度の活動目標と結果報告

環境目標項目	目標値	実績値	達成率
1.エネルギー全体(電力+重油+灯油+LPG)の使用量をCO <sub>2</sub> 換算で2008年度実績(2,245t-CO <sub>2</sub> )の1.0%削減	2,223 t-CO <sub>2</sub>	2,075 t-CO <sub>2</sub>	107.1%
2.廃棄物の発生量を2008年度実績(126.38t)より1%削減	125.12t	105.12t	119.0%
3.揮発性有機化合物(VOC)排出量を2009年度末までに2008年度(実績2.7t)比1.1%削減	2.67 t	2.39 t	111.7%
4-1.全ての部材系取引先が運用する環境マネジメントシステムをレベルⅡ(FJEMS認証取得)以上にする。	11社	11社	100.0%
4-2.部材系取引先の内、「富士通グループ指定規制物質」の非含有を要求する全ての取引先のサプライヤ維持監査でBランク(重点項目100%)以上を取得させる。	11社 B以上	11社 全てA	100.0%
5.環境社会貢献活動を2件以上実施する。	2件	2件	100.0%

## 10. 環境活動に対する対象組織

■ 組織構成は5社、506名(2009.3.31時点)となっており、活動体制は下図の通りです。



## 富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社

お問い合わせ先

〒400-0226 山梨県南アルプス市有野3346  
TEL: 055-285-0383 FAX: 055-285-0314

発行責任者 秋山 滋  
編集責任者 青木保志  
発行年月日 2011年2月  
記載事項対象期間 2009年4月～2010年3月  
報告URL: <http://jp.fujitsu.com/group/finet/eco>

